

“地球・環境”との関わり方

地域を構成する我々も企業も、地球・環境の利害関係者である。資本や雇用との利害関係なら、簡単ではないが、自ら関係を絶つことができる。しかし、地球・環境との関係から逃れることはできない。昨年、ノーベル平和賞を受賞したIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）は第四次報告書で、「人間活動が地球温暖化を招いた」と明記した。つまり、逃れられない両者の関係を自ら変化させているということである。もはや、「環境のため」ではなく、「自らのため」という視点を持つべきである。

今回の特集では、このような認識のもと地球・環境とどのように関わるかについて、「日本企業の環境行動は変わりつつある」「全産業に裾野を広げる環境ビジネス」「地域の企業・住民・自治体が共同で低炭素社会を目指す」という3つをテーマにとりあげた。

C O N T E N T S

- 日本企業の環境行動は変わりつつある
金原 達夫……………4
- 全産業に裾野を広げる環境ビジネス
安藤 真……………8
- 地域の企業・住民・自治体が共同で低炭素社会を目指す
イクレイ日本 ……12